

第4章 公安情勢

右翼等

抗議行動

右翼は、領土問題を始め、憲法問題、歴史認識問題、皇室問題等を捉え、街頭宣伝活動を始めとする抗議行動に活発に取り組みました。

特に、平成25年1月、東シナ海の公海上において、中国海軍艦艇が海上自衛隊護衛艦に火器管制レーダーを照射したことや、中国公船が尖閣諸島周辺において常態的に領海侵入していることなどを捉え、**中国政府等の対応を強く批判**しました。

右翼は、今後も国内外の諸問題を捉え、抗議行動を執拗^{よう}に行うものとみられ、その過程で**テロ等重大事件を引き起こすおそれ**があります。



抗議行動を行う右翼団体（8月、東京）

街頭宣伝活動

一部の右翼は、街頭宣伝車を用いた大音量で執拗な街頭宣伝活動により、騒音被害や交通渋滞を引き起こすなど、市民生活の平穩を害しています。25年中、「糾弾街頭宣伝活動」の対象となった企業は**約190社**に上り、企業側は、民事保全法に基づき街頭宣伝活動を制限する仮処分を裁判所に申し立てるなどの対処をしています。右翼は、今後も市民生活の平穩を害する**悪質な街頭宣伝活動を展開**するとともに、取締りや仮処分命令を免れるため、その手法を一層巧妙化させるものとみられます。



街頭宣伝活動を行う右翼団体（8月、神奈川）

違法行為の検挙

■ テロ等重大事件の未然防止

25年中、オウム真理教主流派（「Aleph（アレフ）」）の拠点施設（足立入谷施設）に突入し、同施設建物等を損壊した「オウム真理教足立入谷施設に対する街宣車突入事件」（11月、警視庁）が発生し、**右翼団体代表1人を逮捕**しました。また、警察は、右翼によるテロ等重大事件を未然に防止するため、事件情報の収集・分析を推進し、拳銃等の銃器摘発に努めた結果、右翼及びその周辺者から**拳銃4丁**を押収しました。



オウム真理教施設車両突入事件（11月、東京）

■ 右翼による違法行為の取締り

25年中の**右翼による違法行為(右翼関係事件)**の検挙件数・人員は、**1,583件1,643人**でしたが、これらの検挙事件のうち、**資金獲得を目的とした恐喝事件**等の悪質な犯罪の検挙は、289件323人に上り、道路交通法違反を除く全検挙件数(674件)の**約42.9%**を占め、悪質な資金源犯罪が依然として後を絶ちません。また、市民の平穏な生活を害する悪質な街頭宣伝活動に対しては、その内容や形態を捉え、暴騒音条例違反や静穏保持法違反等を適用し、27件32人を検挙しました。

警察としては、引き続き、右翼による違法行為に対して、徹底した取締りを行うこととしています。

右派系市民グループをめぐる動向

極端な民族主義・排外主義的主張に基づき活動するいわゆる**右派系市民グループ**は、韓国、北朝鮮、中国の近隣3か国・地域及びこれら国・地域をめぐる動向に対応する日本政府等に対して抗議行動に取り組みました。特に、東京や大阪の在日韓国・朝鮮人が多く居住する地区等において、一部の過激な参加者が人種差別的・排外主義的な街頭宣伝活動を行っていることが、いわゆるヘイトスピーチ問題として社会の注目を集めました。

こうした中、右派系市民グループに対

抗する反対勢力も出現しました。これらの反対勢力はインターネットで賛同者を集め、「カウンター」と称する対抗行動に取り組み、その一部は抗議行動を過激化させています。特に、25年6



反対勢力の抗議行動(8月、東京)



右派系市民グループのデモ行進(4月、東京)

月に都内で行われたデモに際しては、右派系市民グループと反対勢力との間で暴行事件が発生し、合計8人が逮捕される事態に発展しました。今後、右派系市民グループは、国内外の諸問題を捉え、デモ等により自らの主義主張を訴えるものとみられ、その過程で、**反対勢力との間で違法行為の発生が懸念される**ところです。

警察は、必要な警備を実施するとともに、違法行為を認知した際には厳正に対処していくこととしています。